

平成の30年と共に歩んだ公津の杜の歴史を写真等から学びます

## 公津の杜 ひかりの30年展

平成から令和へと移り変わった4月23日から5月8日にかけて、2階ギャラリーMORI×MORIでは、「公津の杜 ひかりの30年展」が開催されました。

平成の30年間は、公津の杜地区の開発と発展の30年間でもありました。かつて、雑木林や農地だった場所に駅ができ、そのまわりに戸建てやマンションが増え、さまざまな人が移り住んできました。人が増えると必要になるのが、学校などの公共施設。小中学校ができ、近年では大学も開学しました。学校以外にも消防署や交番ができたり、地域コミュニティの拠点として、このもりんぴあこづも開館しました。この他、大型商業施設が建ったり、お洒落な店舗が増え、公津の杜は成田の他の地区からも人が集まる場所になりました。

公津の杜地区の歴史を、地域の方が撮影した当時の写真や、学校や図書館などが保管していた資料を時系列に整理して展示したり、各施設に問い合せて、「あゆみ」を作成しました。ご覧になられた方々からは、「大変有意義な展示だった」とお褒めのお言葉を多く頂きました。地域の変貌を地域の方々と共有できた嬉しい展示になりました。



あの日を決して風化させてはならない 東日本大震災復興支援Week.2019!

3月1日から11日の11日間と3月26日に東日本大震災復興支援Week.2019を開催しました。

3月9日には、「杜の音楽祭」として、地域の方のピアノ演奏を中心に行われました。杜の音楽祭は昨年まで実行委員主導のもと独立したイベントで行われていましたが、復興支援の主旨に賛同して頂いたことにより、復興支援Weekの一環として開催する運びとなりました。また復興支援Week実行委員側は地域の方の出演型イベントも望んでいたことで、相乗効果が発揮される共催となりました。



杜の音楽祭の最後を飾ったのは、早稲田大学アカペラサークル Stayd。このStaydは6人組ですが、メンバーの1人が公津の杜小学校出身。途中のMCでは、公津の杜小のネタを交えつつ、ユーモアあふれるトークで笑いをとっていました。しかし一度、歌が始まると真剣な眼差しと美しいハーモニーに観客は耳を傾けていました。

3月10日には、「光のとびら」が開催されました。1部はNanaさん、中山あすかさんのピアノとフルート演奏、2部は杜の音楽祭のpart2として各先生方のピアノの連弾、3部は赤松クニユキさんのギターのエッセンスが披露されました。1部は本来、ほっと奏でているにNanaさんが加わり、演奏を行う予定でしたが、メンバーの急病により、フルートの中山さんとNanaさんのデュオに変更となりました。そのため、急遽曲を変更したりと大変だったようですが、即席のデュオとは思えない息のあった演奏を響かせていました。



2部の連弾では、アナと雪の女王「Let it go」や「春よ来い」「花は咲く」など聞き馴染みのある曲を、さすがは先生という音楽テクニクで聴かせてくれました。

3部の赤松クニユキさんは、ユニバーサルミュージック・ジャパンからメジャーデビューしている実力者。アコースティックギターの弾き語りながら、心にしみいるメロディーと歌声で観客を魅了しました。

最後には来場者を含めた全員でふるさとを合唱しました。

期間中ギャラリーでは、成田市役所、岩手県、成田赤十字病院の活動報告パネルの展示や片岡書道教室による復興祈願の写経展示が行われた他、三和製作所の防災グッズの展示、説明、配布が行われました。



3月26日には「防災見学ツアー」が行われ、つくば市にある防災科学技術研究所を見学し、防災知識を深めていました。参加者からはすでに来年へ期待する声も聞こえました。

## 和のおもてなしの心と精神統一!

3月3日に「茶道体験教室」が開催されました。茶道は日本の伝統文化ですが、現在ではお茶をたてたり、いただく機会がほとんどありません。茶道体験を通じて日本の文化やおもてなしの心を学ぶ教室となりました。



入室し、お茶・お菓子のいただき方、退室の方法まで丁寧な解説を受けながら、実践しました。

3月6日には、「ストレス解消! 写経で精神統一」が行われました。成田山新勝寺の僧侶が講師となり、般若心経を写経しました。ご本尊像の前で、塗香し普段と違う雰囲気の中で緊張感を持って取り組むことで、精神を統一することができました。参加者からは、「お坊様に写経を教えてもらう機会を得て嬉しかった」とのお言葉を頂きました。





# 図書館だより

Public Library

2018 年度に図書館で最も多く読まれた児童書は『はらぺこあおむし』エリック・カール/さく、もりひさし/やく(借成社)でした。色彩豊かでダイナミックなイラストと、つぎつぎ出てくるおいしそうな食べ物に、子どもも大人も魅了されます。第 1 位を記念してエリック・カール氏の絵本を展示しました。

## 2018 年度ベストリーダー



### ★一般書★

- 1位『魔力の胎動』東野圭吾／著
- 2位『マスカレード・ナイト』東野圭吾／著
- 3位『蜜蜂と遠雷』恩田陸／著 幻冬舎

### ★児童書★

- 1位『はらぺこあおむし』エリック・カール/さく
- 2位『くろくんとなぞのおばけ』なかやみわ/さく
- 3位『くろくとちいさいしろく』なかやみわ/さく



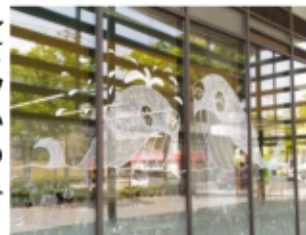
おはなし会 毎月 2 回火曜日の午後 3 時におはなし室で「杜のおはなしかい」を開催しています。絵本を読んだり、わらべうたで遊ぶ楽しい会です。おはなしかいカードにスタンプを 10 個集めると、図書館からプレゼントをさしあげます。(ひとりできけるお子さん～小学生まで) 皆さんのご参加をお待ちしています。

# なかよしひろばだより

Children Space

## ★ひろばの窓に楽しくペイント

5 月に開催した「ペイント遊び」で保育士のマリリンさんとひろばの親子で窓一面にペイントしました。普段はできないイベントとあって楽しみにしている親子も多く、大きなガラスに思いきり描きました。大きい子はもちろん、小さい子もグルグルとペンで描くのを楽しみました。マリリンさんが仕上げをして出来上がった窓には、大きなクジラたちが楽しそうに泳いでいます。何頭のクジラがいるのか、ひろばの窓をチェックしてみてくださいね。



## ★人気の手芸ロゼット作りを楽しみました。

もりんぴあこうづ 3 階の工芸スタジオでロゼット作り講座を 4 月に開催しました。ひろばママでもある UN-DECOR ロゼット認定講師の宮川さんに教えてもらい、可愛いオリジナルのロゼットが出来上がりました。お子さんはママが一生懸命作っている傍らで遊んだり、ひろばのスタッフが見守る中ママから離れて過ごしたりしました。普段は忙しいママたちですが、「集中して作ることができ楽しかった」とリフレッシュできたようでした。



## 4 月から各種事業が動き出しました



入学や入社など新しい生活が始まる新年度の 4 月、当館でもさまざまな事業が動き出しました。

新企画の「もりんぴあ合唱部」は毎月第 2 金曜日に練習を行い、2 月の発表会に向けて、ハーモニーを築き上げます。参加者からは、この曲を歌ってみたいとの意欲が窺えます。

「こどものまち」では、今までで最多の 82 名の子どもたちが実行委員として名乗りを上げ、8 月の本番に向けて話し合いを重ねています。

すっかり定着した「チャレンジランニング」や「大人お散歩倶楽部」、「グリーンボランティア」も始動。この他にも楽しい事業を計画しているので、お楽しみに！

## ★ おまけの 1 枚 ★

今年の「こいのぼりぬり絵コンテスト」最優秀賞がこちらの作品。丁寧に塗られており、独自の模様も入れられていました。



入賞作品の中には 3 年連続入賞という子もいますが、毎年入賞作品を選出に苦戦しています。

## ■ ■ ■ 編集後記 ■ ■ ■

前回の改元時は小学生だった為、訳もわからずに変わっていた印象でした。今回は、幸運なことに退位礼正殿の儀も即位後朝見の儀もリアルタイムでテレビを見ることができました。陛下のお言葉は短いながらも重みのあるお言葉。象徴である天皇があれだけ短いお言葉なのだから、国民である校長先生や上司のお言葉もあれだけ短ければいいのに(笑)(K) かつて、この町に来たのはマルテが言うように「生きるため」だったのだが。憂愁の都会。オリヴィエ・ジャンンに出会った『広場の市』。ジェンニーに会いに行く天文台通り。そして聖母教会の尖塔は昨日焼け落ちた。「見上ぐればサントシャペルの薔薇窓ゆ天啓のごと光降りくる」(T)

公津の社コミュニティセンター

(指定管理者 アクティオ株式会社)

発行人：田村 修 編集：鹿嶋 聡明

〒286-0048 千葉県成田市公津の社 4 丁目 8 番地

TEL 0476-27-5252 FAX 0476-27-5353

E-mail info-kozu@morinpiakozu.jp

HP <http://www.morinpiakozu.jp/>

もりんぴあ  
こうづ  
MorinpiaKozu